

令和6年度第2回 埼玉県スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 令和7年3月26日（水） 11:00～12:00

2 場 所 埼玉会館6B会議室（対面）及びオンライン（zoom）

3 出 席

(1) 出席委員（13名）

久保委員、山田委員、重田委員、新井委員、今村委員、有川委員、工藤委員、竹内委員、相澤委員、善福委員、安達委員、増野委員、竹末委員

(2) 欠席委員（4名）

高橋委員、檜浦委員 白川委員 松本委員

(3) 事務局

スポーツ振興課

4 報告事項

ア 令和7年度の主な事業について

5 内 容

(1) 開会（傍聴希望者なし、議事録の署名委員を山田委員と増野委員に指名）

(2) 県民スポーツ文化局長挨拶

(3) 委員紹介

(4) 報告事項

ア 令和7年度の主な事業について

【事務局 資料1に基づき説明】

(5) 質疑応答

○ 重田委員

スポーツ科学拠点施設の整備について、基本計画を見直し、整備手法等を検討するとあったが、そのうえで令和9年度に完成するのか。

○ 事務局（スポーツ振興課主査）

スポーツ科学拠点施設の整備計画については、それらのスケジュールも含めて、令和7年度に検討を行う。

○ 竹内委員

女性活躍の推進ということで、様々な事業、場面で取り上げていただいていることに感謝している。

今後の女性スポーツの発展というところで検討いただきたいのが、施設の老朽化であるとか、不足への対応について。これらの問題については、女性スポーツに限らず、非常に問題になってきつつある。

老朽化に伴って修繕などを行うことになるが、その間は、ますます活動する場所がなくなってしまう。女性スポーツについては、男性スポーツ以上に、なかなか活動場所の確保が難しいというのを感じている。

様々にご協力いただいている、その中でも問題なく、無事に活動しているところではあるが、今後プロスポーツが増えてくると、それ自体は良いことであると思うものの、その反面、施設が使えなくなってしまう方々も多くなってしまうことを危惧している。こういった施設利用の問題についても、御検討いただきたい。

特に県内の陸上競技場は、第1種については熊谷スポーツ文化公園の陸上競技場のみということで、調整が難しくなってしまうことと聞いている。我々がそこをホームスタジアムとしているので、そこで試合をする際には陸上競技の方々が利用できなくなってしまうが、では我々が別の競技場で試合をすることができるかという、西部エリアには基準を満たすスタジアムそのものがない。気運醸成などの中で、ソフト面は非常に充実してきていると思う。簡単なことではないと思うが、ハード面の方もいろいろな面で検討いただきたいと思う。

○ 事務局（スポーツ振興課主幹）

主に都市整備部の所掌であるので、ご意見いただいたことを共有させていただく。

○ 相澤委員

一昨年から、スポーツ振興課が中心となって地域ミーティングを実施するなど、部活動の地域移行あるいは地域展開の課題について、学校や市町村、企業や地域スポーツクラブと、様々な立場の方々と話し合ってきた。これに我々は、総合型地域スポーツクラブの集まりである彩の国SCネットワークとして、皆で意見を出し合おうということで関わってきている。

そうした中で、現在の計画の、どの部分にこの事業が関わっていると考えたらよいのか。目標1の施策2「子供・若者のスポーツ活動の充実」になるかと思うが、大きな基本目標から各施策の来年度の事業概要となったときに、どこにも出てきていないというのが残念である。この取組によって課題が見えてきたというところもあるので、1行でも何か載っていると嬉しいということもあるので、教えていただきたい。

○ 事務局（スポーツ振興課主査）

目標1の施策2「子供・若者のスポーツ活動の充実」の中で、取組の（2）「学校運動部活動の充実と地域クラブ活動への移行に向けた支援」という形で掲載させていただいている。また、同じく取組の（3）「地域におけるスポーツ活動の充実」も該当する。

○ 相澤委員

総合型地域スポーツクラブという立場では、今ここに関わることがこれから課題であるというふうに考えている。市町村の方々と共に進めていくという中で、県からもそういった風を送っていただくというの、ぜひこれからもよろしくお願いしたい。

○ 工藤委員

相澤委員と同じ観点でお伺いしたい。目標１の施策２、（２）と（３）にその取り組みについて記載されていることは、我々もこの計画の策定に関わってきたので理解している。しかし、今ご紹介いただいた来年度の事業の中では、県として予算化して何かをするということはないという理解で良いのか。加えて、県からは、市町村に対してそれぞれ取り組むようにと指導はしているのか。その２点について伺いたい。今年度の、もしくは昨年度の事業の中での県の中での位置付けであるとか、県と市町村との役割分担であるとか、この学校部活動の地域移行・地域展開について補足いただきたい。

○ スポーツ振興課副課長

スポーツ振興課の事業という形でここで紹介させていただくことはしなかったが、現在国に予算を要求している。まだ見込みではあるが、保健体育課、スポーツ振興課など関係課で、この部活動地域移行、新たな地域クラブ活動に関連する事業費予算としては、合計で６千万円程度の予算を要求している。

今年度でいうと、スポーツ振興課としては、先ほど相澤委員からもお話があった地域ミーティング等の開催や、公募で募った１３の受け皿団体に一定の助成をし、モデル事業を実施して、その活動を広めていただく取り組みもさせていただいた。令和７年度については、２０から２５の団体を公募し、それを助成するというような立て付けで進めようとしているところである。このように県の一般財源ではない形ではあるが、国の事業として、県と市町村とで、教育局と連携しながら進めているところである。

また、先ほど相澤委員から総合型地域スポーツクラブの立場からということでお話があった地域ミーティングについて、今年度は、それぞれの地域で実証事業を実施していただいた１３団体の方々に、それぞれの取組を発表していただいた。来年度は、より広めたい、知っていただきたい方々のニーズに合う開催方法を考えており、その一つとして、総合型地域スポーツクラブの皆様は、必要な情報をお届けできるよう開催方式を検討しているところである。総合型地域スポーツクラブにとって新たな会員の獲得の機会となるようにとも考えているので、受け皿団体となりうる、あるいは団体の活動に地域の中学生が入ってきてもらえるというような情報を広く届けられるように、総合型地域スポーツクラブの皆様にもお声がけをしながら、またその方々を対象とした御説明の機会も設けさせていただく予定である。

○ 善福委員

スポーツ選手のキャリア支援事業と、育成年代に向けてのスポーツキャリア教育の関係で言うと、推進計画の基本目標・施策・取組のところでは、キャリアに関連した項目がどこにも無い。

子供たちの健康増進から高齢者の方まで、様々な観点からスポーツを考えたときに、アスリートについてはもちろん競技力を高めるということを中心にかかれているが、せっかく埼玉県でアスリート向けの職業サポート、埼玉アスリート就職サポートセンターなども行っているのだから、ここの一連の流れの中に、やはりキャリアというそのアスリートの入口出口というところで強化があって、就職の部分についても、計画のどこかに明記されていると、スポーツの取り組みの一つとしての意識づけになると思う。

書くか書かないかということについては経緯もあると思うが、そこを御説明いただきたい。埼玉アスリート就職サポートセンターの更なる充実といった点で、何かお手伝いをしたいと思うところもある。アスリートの入口出口というところでの施策として、盛り込める要素、盛り込めなかった要素といったところを、お聞かせ願いたい。

○ 事務局（スポーツ振興課主査）

まず、競技継続のため就職サポートという形で、令和6年度の実績について記載させていただいた。令和7年度事業についても、「スポーツ科学を活用した発掘・育成から強化支援まで一貫したサポート体制を整備」といった中で、就職支援についても引き続き行っていきたいと考えている。

推進計画の基本目標・施策・取組の中では、目標3の施策の7（3）アスリートの競技継続支援の中に、就職支援のことも含まれていると考えている。

○ スポーツ振興課副課長

埼玉アスリート就職サポートセンターの取り組みについては、我々としても大変に意義のあるものであると考えているが、なかなか選手たちにこの情報が伝わっていない。また、県内企業にも広く周知はさせていただいておるところではあるものの、なかなか企業側の思いと上手にマッチするようなことができずにいる。そうした課題があって、取り組みの成果としては、なかなか思うような数字が出せていない。

今後、善福委員にも御示唆いただき、様々なことを御教示いただければありがたい。

(6) 閉会

署名

署名 有川 秀之

署名 山田 上

署名 増野 秀夫